

外来種との闘い ～東京都レンジャーの外来種への取組～

奥多摩地区の海沢園地で、東京都レンジャーは長い間アメリカスミレサイシンという外来種のスミレと闘っています。北アメリカ原産で、元々は園芸用として花壇等に植えられていましたが、現在では各地で野生化して問題になっています。地下茎で増殖し閉鎖花で種子をまき散らすため、とても繁殖力が強いスミレです。毎年種をつける前に抜き取り作業を行っているのですが、なかなか無くなりません。一度侵入してしまった外来種を駆除することはとても大変な作業です。外来種は侵入させないことが一番大切なことです。

東京都レンジャーとアメリカスミレサイシンとの闘いは続く…。



アメリカスミレサイシン



手間のかかる抜き取り作業

小笠原諸島での外来種問題への取組

東京都の自然公園は多摩地域や伊豆諸島だけでなく、本州から約 1000Km 離れた小笠原諸島にもあり、東洋のガラパゴスと言われるくらい特殊な生き物たちの世界が広がっています。

維管束植物は 745 種確認され、そのうち在来種は 441 種、固有種は 161 種であり、動物なども希少種が多く、昆虫 27.5%、陸産貝類（かたつむり）約 95%が固有種です。また、現在でも毎年新種が発見されるなど、小笠原諸島は世界中でここだけでしか見ることのできない貴重な生き物たちの宝庫です。しかし今、小笠原諸島誕生から約 4800 万年かけて作られてきた小笠原の特殊な生き物の世界が、人が住み始めて 190 年あまりの間に持ち込まれた外来種により、数多くの固有種が絶滅し、また現在絶滅の危機に迫

いやられるといった状況にあります。植物では、持ち込まれたヤギによる食害や、アカギ・ギンネム・トクサバモクマオウと言った外来植物の大繁殖により、島にもともとあった植物が追いやられ減ってきています。また、昆虫や陸産貝類はそれぞれ、グリーンアノールやニューギニアヤリガタリクウズムシなどといった外来生物に食べられることによって、驚異的な速度で減少しています。

そのような中、東京都レンジャーは、船でしか行くことが出来ない小笠原諸島に、これ以上外来生物が入り増えていかないよう、靴底の泥と共に運ばれてくる植物の種やニューギニアヤリガタリクウズムシなどの侵入を防ぐため、船への乗下船時の靴底洗浄を徹底させる立ち会い指導や、島民や国の行政などと共に直接的な外来種の駆除作業を行うなど、日々自然の状態を見守り、貴重な自然を後世に残す為、小笠原諸島の最前線で自然保護活動を行っています。



南島での駆除作業



乗下船時の立会い指導



泥落としマットで汚れを落とす

レンジャーコラム ～ 今日からできるちょっとした外来種対策 ～

自然公園を巡回している東京都レンジャーは、靴をととても大切にしています。一日歩いた後の靴は泥だらけになることも。そんなときは、靴を磨きます。靴底には泥が詰まっていることが多いですが、泥がついた状態で他の地域に行くとうなるでしょうか。靴底の泥と一緒に植物の種が別地域へと運ばれ、外来種となってしまう恐れがあります（非意図的導入といいます）。このため、様々な地域へ赴く東京都レンジャーは、靴にも気を使っているのです。丁寧に靴底の泥を落としたあとは、表面をクリームやブラシを使って磨いていきます。つま先はこの世の全てを映し出すくらいに磨き上げます。時には自分の心さえも映し出すことがあります。

ヨーロッパには「靴が幸せになれる場所へ連れて行ってくれる」という言い伝えがあります。これを読んでいるみなさんも、大切にしている靴が素敵な場所へと連れて行ってくれることでしょう。（御岳地区 片岡）



東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551